





# ソールに異常が見られたら、速やかに下山してください

登山前には靴の安全確認を行ってください。  
万一、山行中にソール(靴底)が剥がれたり破損が生じた場合には、  
山行計画を中止し、応急処置をして、  
速やかに、最短コースで下山してください。

針金や細引き、テープなどで本体とソールをしっかりと固定してください。  
テープなどを巻くとソールの凹凸がなくなり、ラバーのグリップ力も低下するため、  
非常に滑りやすくなります。十分に注意して下山してください。

## 応急処置例



### 針金

針金は強度が強いのでしっかりと固定できます。  
ただし、岩場などでは大変滑りやすくなりますので、  
十分に注意してください。



### 細引き

細引きを使用する場合は、しっかりと結び、緩んで  
いないかをチェックしながら下山してください。



### テープ

テーピングテープを使用する場合、ソールのパターン  
が覆われ、滑りやすくなりますので十分に注意して  
ください。

破損に気がついた時はすでにミッドソールはボロボロの状態になっており、短時間でソールが剥がれ落ちてしまいます。破損  
が起きたときはルートを変更して、直ちに下山してください。「この程度なら大丈夫」と歩き続けたことによる事故も起きて  
います。冷静な判断があなたを危険から守ります。登山やトレッキングでは針金、細引き、ガムテープ、テーピングテープなどは  
他の用途でも重宝しますので、常に携帯してください。

## 使用前の注意

登山靴、トレッキングブーツ本体やミッドソール、フック、  
D環などに異常がないか点検してください。とくに、ミッド  
ソールは、ソールの屈曲を繰り返してひび割れなどの異常  
がないかを確認してください。長期間使用していない登山靴、  
トレッキングブーツは、気づ  
かない間に「経年劣化」に  
よる破壊が起こっている  
可能性がありますので、とく  
に入念に安全確認を行って  
ください。

### 各部名称

フック

D環

ミッドソール



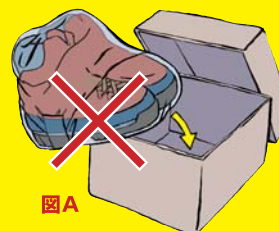
## 使用後の手入れ

トレッキングブーツを使用された後には、本体や靴底を  
水洗いして、土等の異物を除去してください。洗った後は  
乾いたタオル等で水気を取ってください。乾燥は、風通しの  
よい場所で十分に日陰干をした後、はっ水スプレー等で  
メンテナンスを施してください。

※はっ水スプレーの使用は必ず風通しの良い屋外で行って  
ください。

## 保管方法

高温多湿にならない  
通気性の良い(風通し  
の良い)場所で、箱や  
ビニール袋等で密閉  
しないで保管してくだ  
さい(図A)。



図A